

## 【開催速報】

寛永文化と寛永行幸（二条城行幸）を軸に、江戸時代前半に花開いた京都文化の粋を紹介

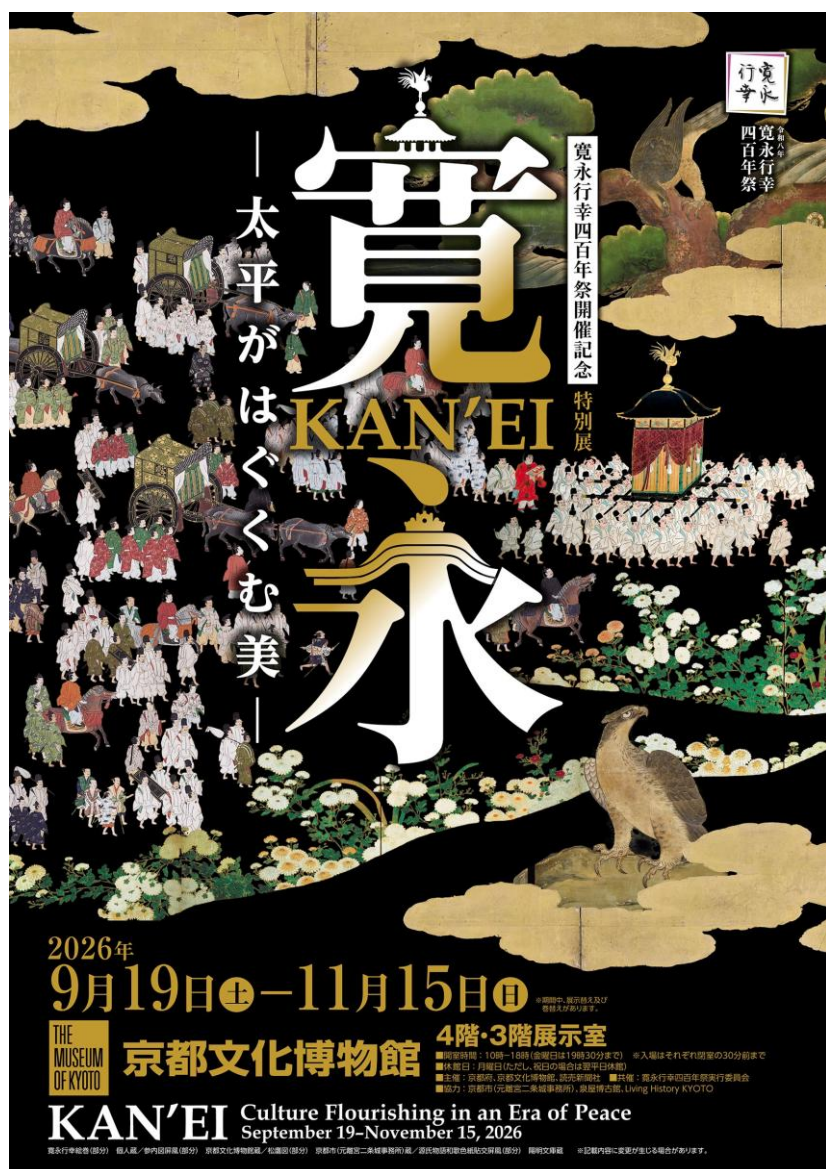
# 寛永行幸四百年祭開催記念 特別展「寛永 太平がはぐくむ美」開催

## 2026年9月19日（土）～11月15日（日）／京都文化博物館

京都文化博物館では、2026年に京都で開催される「寛永行幸四百年祭」を記念した特別展「寛永 太平がはぐくむ美」を、2026年9月19日（土）～11月15日（日）の会期で開催いたします。

寛永3年（1626）の「寛永行幸（二条城行幸）」は、徳川幕府が後水尾天皇を迎えて盛大にもてなした、江戸時代を代表する行事です。本展では、この行幸を中心に、本阿弥光悦や俵屋宗達らが活躍した「寛永文化」の華やかな世界を紹介します。

なお、本展の詳細は、2026年3月頃に発表予定です。概要は以下の通りです。



## 《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「寛永 太平がはぐくむ美」広報事務局（TMオフィス内） 担当：馬場・永井・西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：[KANEI@tm-office.co.jp](mailto:KANEI@tm-office.co.jp)

[illegible]

またこの時期は、本阿弥光悦、俵屋宗達、野々村仁清、池坊専好など名高い芸術家が生まれてきた時代であり、この時代に育まれた文化は「寛永文化」と称されます。桃山時代とは異なる新たな文化が巻き起こった京都で、朝廷と江戸幕府が結び合った一大政治イベントが寛永行幸なのです。

## ■ ■ ■ ■ ■ 章構成 ■ ■ ■ ■ ■

## エピローグ

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ **おもな展示作品** ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■





■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ **開催概要** ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

※掲載文字数に制限のある場合、特別展「寛永 太平がはぐくむ美」のみの表記でも可能です。

※期間中、展示替え及び巻替えがあります。

開室時間：10時～18時（金曜は19時30分まで）※入場はそれぞれ閉室の30分前まで

主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社

協力：京都市（元離宮二条城事務所）、泉屋博古館、Living History KYOTO

問い合わせ先：京都文化博物館 電話 075-222-0888

2026年、「寛永行幸」から400年の節目を迎えるに当たり、オール京都の組織である「文化庁連携プラットフォーム」のプロジェクトとして、「寛永行幸」の行事を再現し、当時の京都で花開いた「寛永文化」を振り返る記念祭「寛永行幸四百年祭」を実施します。

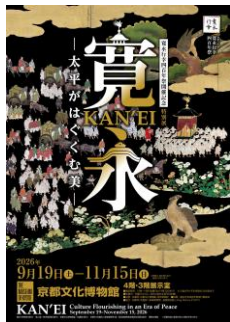
TEL : 050-1807-2919    FAX : 050-1722-9032    EMAIL : [KANEI@tm-office.co.jp](mailto:KANEI@tm-office.co.jp)

# ▼広報用画像について

以下の【1】～【8】を広報用画像として貸出いたします。

※入力が難しい場合は広報事務局までお問合せください。

申込フォーム：<https://forms.gle/2EE8zjfq1gaFR3cW8>



1



2



3



4



5



6



7



8

NO	キャプション
1	メインビジュアル ※キャプションの表記は不要
2	《参内図屏風》 京都文化博物館
3	《寛永行幸絵巻》（部分） 個人蔵
4	重要文化財 狩野山楽筆 二条城二の丸御殿〈大広間〉四の間《松鷹図》（部分） 京都市（元離宮二条城事務所）
5	近衛信尹書《源氏物語和歌色紙貼交屏風》 陽明文庫
6	近衛信尹書《和歌六義屏風》 陽明文庫
7	重要美術品《太刀 銘 備前国住雲次》 陽明文庫
8	重要文化財《薙刀直し刀 骨喰藤四郎》 京都・豊国神社

## 《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「寛永 太平がはぐくむ美」広報事務局（TMオフィス内） 担当：馬場・永井・西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：[KANEI@tm-office.co.jp](mailto:KANEI@tm-office.co.jp)